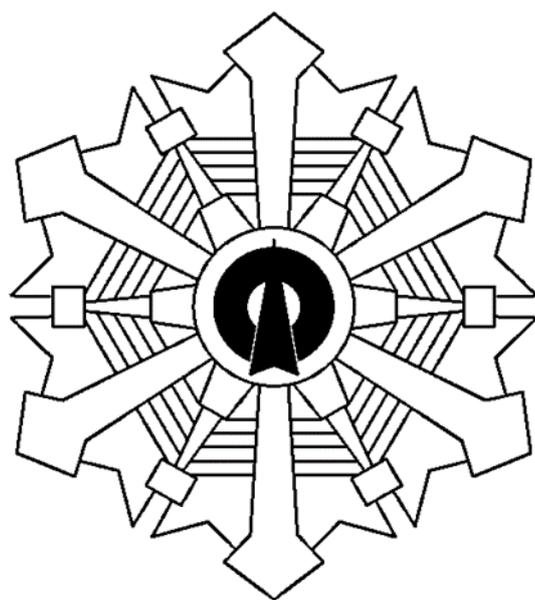


消 防 年 報

令和元年（2019）版



島根県大田市消防本部

は し が き

この消防年報は、大田市消防本部における消防の現勢及び令和元年中における消防業務に関する諸般の資料を集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般にご理解いただくために編集したものです。

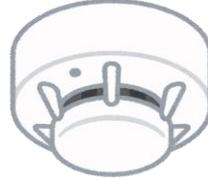
なお、この内容については令和2年4月1日現在をもって集録してありますが、これにより難しいものについては当該表にそれぞれ記載する年月日で表しております。

令和2年7月

大 田 市 消 防 本 部

絵で見る消防年報

令和2年4月1日現在

<p>管内人口</p>  <p>34,141人</p>	<p>管内世帯数</p>  <p>15,579世帯</p>	<p>管内面積</p>  <p>435.71km²</p>	<p>消防署所の数</p>  <p>消防本部 1 消防署 2 出張所 1</p>
<p>消防職員の数 (再任用1名除く)</p>  <p>83名</p>	<p>平均年齢 (再任用1名除く)</p>  <p>36.9才</p>	<p>消防車の数</p>  <p>6台</p>	<p>救急車の数</p>  <p>6台</p>
<p>火災件数 (令和元年中)</p>  <p>22件</p>	<p>出火原因 (令和元年中)</p>  <p>1位 焚き火</p>	<p>住宅火災警報器 設置率</p>  <p>78%</p>	<p>救急出場件数 (令和元年中)</p>  <p>1,916件</p>
<p>防火対象物数</p>  <p>1,521棟</p>	<p>危険物施設数</p>  <p>製造所 2施設 貯蔵所 139施設 取扱所 62施設</p>	<p>消防水利 (公設)</p>  <p>消火栓 532基 防火水槽 296基</p>	<p>消防団員数</p>  <p>定数 844人 実員 844人</p>

目 次

1. 概 況

1. 大田市消防本部管内図	1
2. 管内の面積・人口・世帯数	2
3. 消防の沿革	3
4. 歴代消防長	11
5. 消防庁舎等の現況	12

2. 総 務 編

1. 組織及び機構	13
2. 事務分掌	15
3. 消防職員配置状況	19
4. 階級別勤務年数調	20
5. 階級別年齢調	20
6. 常備消防予算及び主要事業	21

3. 予 防 編

1. 防火対象物現況調	22
2. 数量別・類別製造所等設置数	23
3. 危険物製造所等の申請取扱件数	24
4. 消防事務手数料徴収状況	24
5. 諸届（願）処理状況	25

4. 警 防 編

1. 火災	
概要	26
出火原因別火災件数・損害額	27

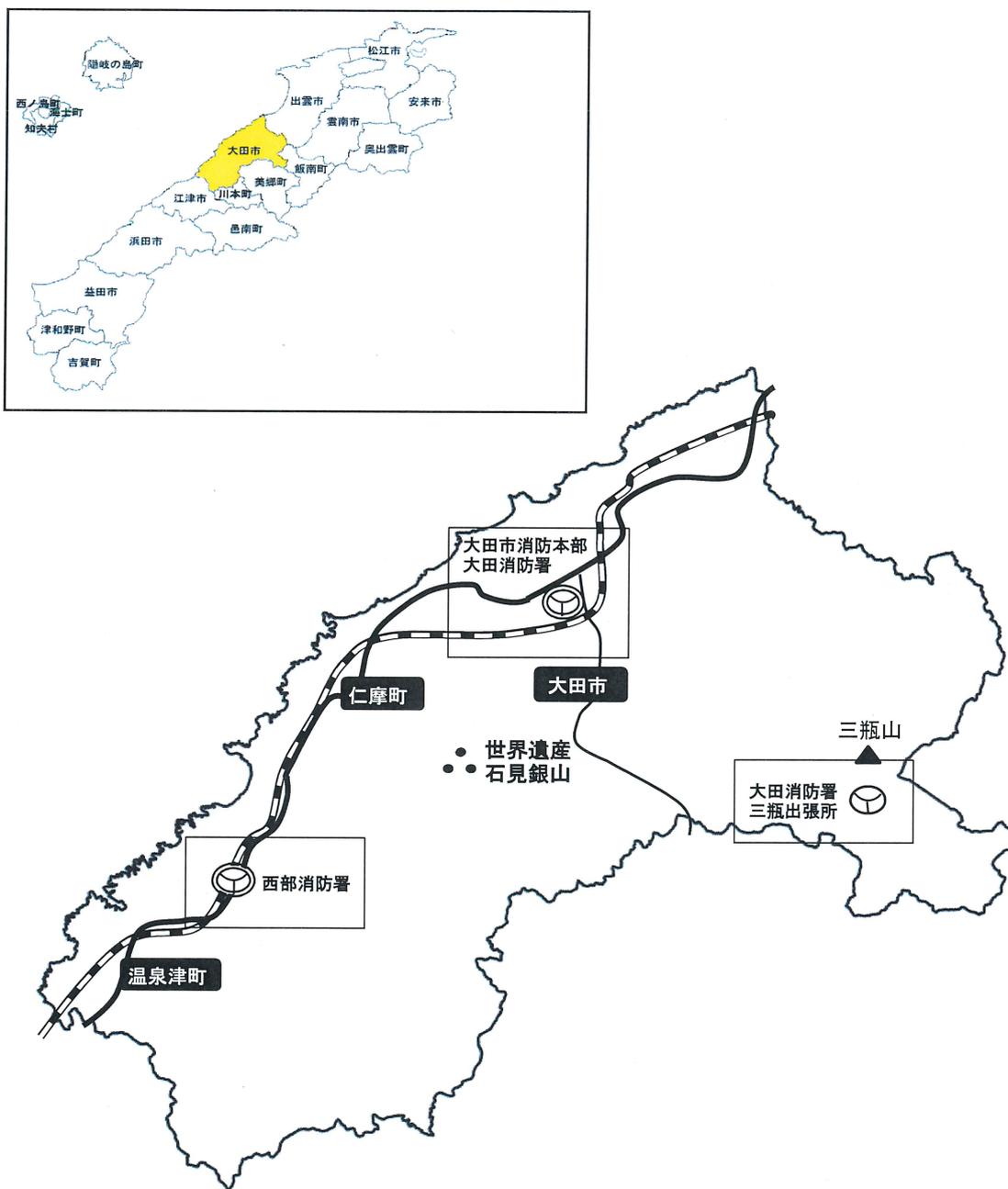
町別火災件数及び損害額	28
月別町別火災発生状況	29
2. 救急	
概要	30
署所別救急出場件数及び搬送人員	31
月別出場件数及び搬送人員	32
町別救急出場件数	33
年齢・傷病程度別搬送人員	34
ドクターヘリ地区別搬送人員	35
3. 救助	
概要	36
防災ヘリコプター要請件数	36
4. 消防	
消防車両現有数	37
無線通信施設	38
消防水利地区別状況	39

5. 消 防 団 編

1. 大田市消防団の沿革	40
2. 歴代消防団長	50
3. 組織及び報酬等	51
4. 編成装備	52

1. 概況

1. 大田市消防本部管内図



2. 管内の面積・人口・世帯数

区分	面積 (km ²)	全人口	男 (人)	女 (人)	世帯数
大田市	435.71	34,141	16,318	17,823	15,579

2. 管内の面積・人口・世帯数

町 名		世帯数 (戸)	人 口 (人) * 外国人含む			管内面積 (Km ²)
			男	女	計	
大 田 町		3,699	3,979	4,190	8,169	435.71
川 合 町		856	784	928	1,712	
三 瓶 町	池 田	382	336	427	763	
	志 学	247	240	284	524	
	多 根	86	89	105	194	
山 口 町		129	130	156	286	
富 山 町		232	227	256	483	
朝 山 町		190	205	259	464	
波 根 町		518	596	640	1,236	
久 手 町		1,742	1,889	2,106	3,995	
鳥 井 町		501	563	595	1,158	
長 久 町		1,308	1,424	1,560	2,984	
静 間 町		541	633	670	1,303	
五 十 猛 町		550	649	613	1,262	
大 屋 町		161	149	157	306	
久 利 町		540	651	665	1,316	
大 森 町		202	184	221	405	
水 上 町		223	242	225	467	
祖 式 町		152	142	169	311	
大 代 町		178	150	183	333	
温 泉 津 町	湯 里	261	235	275	510	
	温 泉 津	527	494	570	1,064	
	井 田	263	255	277	532	
	福 波	322	306	303	609	
仁 摩 町	仁 万	1,091	1,116	1,290	2,406	
	宅 野	222	240	261	501	
	大 国	185	176	193	369	
	馬 路	271	234	245	479	
合 計		15,579	16,318	17,823	34,141	

3. 消防の沿革

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1958	昭和33	7	1	消防本部・消防署を設置し、職員4名に消防団大田分団より団員30名を消防署勤務員に委託し、常備消防発足。
		10	1	大田町諏訪に木造2階建の庁舎を建築、大田分団から移管した自動車ポンプ2台を配置する。
1960	昭和35	4		消防職員5名増員、以来昭和36年に3名、昭和37年に2名を増員、昭和39年の市立大田中学校の大火を契機に12名、昭和40年2名、救急業務開始に伴い昭和44年に3名と逐年増員され、職員数31名となる。
1961	昭和36	12		水槽付消防ポンプ自動車1台を購入、昭和38年に超短波無線機の基地局と移動局を設置する。昭和41年度には消防庁舎の新築に着手、翌年5月大田町中心部に鉄筋コンクリート2階建702㎡の新庁舎完成。
1967	昭和42	6		日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受ける。 昭和43年救急業務実施の政令指定を受け、同年1B型救急自動車及び器材を購入し、同年9月1日より業務を開始する。
1970	昭和45	12		大型水槽付ポンプ自動車を購入、更に昭和46年春、国立公園三瓶山に天皇皇后両陛下をお迎えして開催された全国植樹祭を期して林野火災の撲滅を計るため林野火災工作車を購入する。
1972	昭和47	3	21	島根県知事へ大田市外2町環境衛生組合規約の変更許可を申請。
		3	28	規約変更許可に基づき大田市外2町消防衛生組合（大田市、温泉津町、仁摩町）に準備班を設け、準備業務を開始する。
		5		救急自動車1台を購入する。
1973	昭和48	1	10	大田消防署三瓶出張所庁舎竣工。
		3		普通消防ポンプ自動車2台を購入する。
		3	31	大田消防署西部分署庁舎竣工。
		4	1	消防無線は、本部（署）基地局1・移動局7・携帯無線局2、西部分署固定局1・移動局2、三瓶出張所固定局1・移動局1とし、増設整備完了し業務を開始。20名の職員の採用をはかり、消防本部9名、大田消防署26名、大田消防署西部分署11名、大田消防署三瓶出張所5名、総員51名にて広域消防業務を開始。
1974	昭和49	4	1	8名の職員を採用し消防本部9名、大田消防署28名、大田消防署西部分署15名、大田消防署三瓶出張所7名、総員59名にて広域消防業務を推進している。
		7	1	1名の職員を補充採用する。
		8		小型動力ポンプB3級1台、同年12月消防ポンプ自動車(BD-I型)を購入し増強した。同年11月大田石油株式会社より、救助工作車の寄贈を受けた。
1975	昭和50	4		2B型救急自動車及び器材を購入三瓶出張所へ配置。
1976	昭和51	7	1	2名の職員を採用、消防本部9名、大田消防署28名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所7名、総員61名となる。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1977	昭和52	5		携帯無線機（1W）1基購入、同年第1回島根県救助技術大会の開催にともない救助器具の購入、訓練を開始し、救助技術の向上につとめ参加する。同年7月1日3名の職員を採用、消防本部9名、大田消防署29名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所9名、総員64名となる。同年12月17日 島根県共済農業協同組合連合会より2B型救急自動車の寄贈を受け西部分署へ配置した。
1978	昭和53	5		携帯無線機（1W）3基購入、同年7月救助工作車（寄贈）に無線移動局を設置し整備を強化した。同年7月1日職員の異動により2名採用、消防本部10名、大田消防署27名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所11名、総員65名となる。
1979	昭和54	7	1	職員の異動により2名採用、消防本部10名、大田消防署28名、大田消防署西部分署17名、大田消防署三瓶出張所11名、総員66名となる。
1980	昭和55	9	12	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（火災保険号「さんべ」）1台の寄贈を受け、大田消防署三瓶出張所へ更新配置する。
1981	昭和56	3	4	消防庁長官表彰の表彰旗を受ける。
		3	26	島根県共済農業協同組合連合会より2B型救急自動車1台の寄贈を受け、三瓶出張所に配置する。
		11	26	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（水槽1,300ℓ、薬槽500ℓ）を購入、大田消防署に配置する。
1982	昭和57	4	1	職員異動に伴い1名を採用する。
		9	15	日本消防協会から2B型救急自動車1台の寄贈を受ける。大田消防署に配置する。
1983	昭和58	4	1	職員異動に伴い2名を採用する。
1984	昭和59	4	1	消防長専任となる。
		7	6	大田消防署西部分署仮眠室増築（10㎡）。
		11	12	島根県共済農業協同組合連合会から2B型救急自動車1台の寄贈を受け、西部分署に配置する。
1985	昭和60	4	1	職員異動に伴い2名を採用する。
		11	21	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（2,000ℓ）を購入、大田消防署に配置する。水槽付大型消防自動車（2号車）を廃車する。
1987	昭和62	2	20	普通消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、西部分署に配置する。
		4	1	通信網強化のため温泉津町高山に中継局を新設する。単一无線設備を多重無線設備に変更し、消防団緊急伝達システムを導入する。消防通信指令装置（FD-11）を新設し、通信指令室を増改築する。 消防法の改正を受け大田消防署に救助隊発足。
1988	昭和63	2	29	救助工作車（Ⅱ型）購入、大田消防署に配置する。
		6	3	日本防火協会から広報車の寄贈を受けた。大田消防署に配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1988	昭和63	8	1	職員 1 名を採用する。
		8	2	日本消防協会から 2 B 型救急自動車 1 台の寄贈を受ける。 三瓶出張所に配置する。
1989	平成元	2	8	普通消防ポンプ自動車（C D-I 型）を購入、大田消防署に配置する。
1990	平成2	3	9	普通消防ポンプ自動車（C D-I 型）を購入、大田消防署に配置する。
		3	30	大田消防署三瓶出張所増築（9 6 m ² ）。
		4	1	消防本部、消防署の組織を一部あらため本部 2 課を 3 課制とし、大田消防署西部分署の分隊を小隊とした。
		10	27	島根県共済農業協同組合連合会から 2 B 型救急自動車 1 台の寄贈を受ける。 大田消防署に配置する。
1991	平成3	3	30	消防本部、大田消防署庁舎改修及び増築工事（3 7 3 m ² ）・訓練塔新設。
		4	1	職員異動に伴い 1 名採用する。
		8	2	日本消防協会から 2 B 型救急自動車 1 台の寄贈を受け、大田消防署に配置する。
		9	11	日本損害保険協会から普通ポンプ自動車（火災保険号「さんべ」） 1 台の寄贈を受け、三瓶出張所に配置する。
1992	平成4	4	1	職員異動に伴い 1 名採用する。
		5	18	広報車を更新し大田消防署に配置する。
		7	20	林野火災資機材輸送車を更新し、大田消防署に配置する。
1993	平成5	4	1	機構改革に伴い、大田消防署西部分署を西部消防署とした。消防力の強化を図り、職員 1 2 名を採用し、消防本部 1 0 名、大田消防署 3 4 名、西部消防署 2 3 名、大田消防署三瓶出張所 1 1 名、総員 7 8 名となる。
		10	1	島根県防災航空隊発足に伴い、島根県へ航空隊員として職員 1 名を派遣。
		11	29	2 B 型救急自動車を購入、大田消防署に配置する。
1994	平成6	1	20	西部消防署増築（6 4 m ² ）。
		3	8	安田生命保険相互会社から 2 B 型救急自動車の寄贈を受け西部消防署に配置する。
		3	29	署所の固定局無線設備の老朽化及び管内の通信不感地帯を解消するため、西部消防署の通信方式を既設の高山中継基地局を利用した方式に変更改修、又、三瓶出張所の無線設備を従来方式に更新、更に消防本部には基地局を新たに設置した。併せて、大規模災害の対応に備えるため、消防本部及び三瓶出張所の基地局には、全国共通波を装備し、より一層の消防業務の拡充を図った。
		4	1	職員 1 名を採用し、総員 7 9 名となる。消防力強化に伴い、大代町の救急業務は西部消防署の管轄区域とした。
		4	4	救急救命東京研修所へ 2 名入校。 平成 6 年 1 1 月 4 日、国家試験に 2 名合格する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1995	平成7	1	17	阪神淡路大震災発生に伴い、自治省消防庁より応援要請があり消火部隊（5名）神戸市へ災害派遣する。
		4	1	
		4	4	救急救命九州研修所へ2名入校。 平成7年11月2日、国家試験に2名合格する。
		9	5	緊急消防援助隊登録（救急部隊）。
1996	平成8	3	22	高規格救急自動車を購入、大田消防署に配置する。
		5	1	高規格救急自動車の運用を開始する。
		10	14	救急救命九州研修所へ2名入校。 平成9年4月18日、国家試験に2名合格する。
1997	平成9	4	1	島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。
		10	7	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成10年4月17日、国家試験に合格する。
1998	平成10	4	1	退職に伴い職員1名採用する。
		10	7	救急救命九州研修所へ2名入校。 平成11年4月14日、国家試験に2名合格する。
1999	平成11	4	1	退職に伴い職員2名採用する。
		4	10	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成11年11月10日、国家試験に合格する。
		6	1	大田市、温泉津町、仁摩町の1市2町では、地域振興及び介護保険を広域的に推進するため、大田市外2町消防衛生組合を母体とした大田市外2町広域行政組合に組織を変更する。
		11	18	高規格救急自動車を購入し、西部消防署に配置する。
		12	10	2B型救急自動車を購入し、大田消防署三瓶出張所に配置する。
2000	平成12	4	1	退職に伴い職員1名採用する。 島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。
		8	21	消防指揮車を更新し、大田消防署に配置する。
		10	21	大田地区危険物保安協会から防火広報車の寄贈を受け、大田消防署に配置する。
		12	11	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新、大田消防署に配置する。
2001	平成13	4	1	退職に伴い職員2名を採用する。
		10	16	2B型救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
		11	9	水槽付ポンプ自動車を更新し、大田消防署に配置する。
2002	平成14	3	31	緊急消防援助隊登録（救助部隊）。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2002	平成14	4	1	退職に伴い職員2名採用する
		9	2	2B型救急自動車を更新し、西部消防署に配置する。
2003	平成15	1	17	救助工作車（Ⅱ型）を更新し、大田消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員2名採用する。 島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。
		10	7	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成16年5月12日、国家試験に合格する。
		11	29	大田市外2町広域行政組合発足30周年を記念し、式典及び記念誌を発行する。
2004	平成16	4	1	退職に伴い職員2名採用する。
		10	4	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成17年4月19日、国家試験に合格する。
2005	平成17	2	7	普通消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、西部消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員7名採用する。 三瓶出張所職員を大田消防署に含め大田消防署より派遣する。
		4	4	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成17年11月30日、国家試験に合格する。
		10	1	大田市、温泉津町、仁摩町の1市2町の合併により新大田市となり、大田市消防部、大田市消防本部に組織及び名称を変更する。
		10	3	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成18年4月19日、国家試験に合格する。
2006	平成18	2	23	林野火災資機材輸送車を更新し、大田消防署に配置する。
		4	1	島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。 退職に伴い職員6名採用する。総員78名となる。 三瓶出張所職員を専属に配置する。
		9	14	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成19年5月7日、国家試験に合格する。
2007	平成19	1	15	高規格救急自動車を購入し、大田消防署に配置する。
		4	1	退職に伴い職員6名採用する。総員78名となる。
		9	13	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成20年4月30日、国家試験に合格する。
		10	31	普通消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、大田消防署に配置する。
2008	平成20	4	1	退職に伴い職員5名採用する。総員78名となる。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2008	平成20	7	15	新庁舎建設準備委員会を立上げ、新庁舎建設に職員が取り組む。
		9	9	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成21年4月14日、国家試験に合格する。
		10	10	大田消防署設置の通信指令台を更新する。
2009	平成21	4	1	島根県へ消防防災航空隊員として職員1名を派遣。 退職に伴い職員2名採用する。総員76名となる。
		9	9	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成22年4月13日、国家試験に合格する。
		10	23	普通消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、大田消防署に配置する。
		12	10	高規格救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
2010	平成22	4	1	退職に伴い職員4名採用する。総員77名となる。
		9	9	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成23年4月12日、国家試験に合格する。
2011	平成23	3	12	東北地方太平洋沖地震発生に伴う緊急消防援助隊第1次隊～2次隊（救急隊2隊8名）を宮城県へ派遣する。
		3	31	緊急消防援助隊追加登録（消火部隊）。
		4	1	退職及び消防力の強化を図り、職員8名を採用する。総員84名となる。
		6	20	大田市役所危機管理室設立に伴い、室長として職員1名派遣。
		9	7	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成24年4月13日、国家試験に合格する。
		10	3	高規格救急自動車を更新し、西部消防署に配置する。
		11	28	普通消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新し、大田消防署三瓶出張所に配置する。
2012	平成24	4	1	退職に伴い職員3名採用する。島根県へ防災航空隊員として職員1名を派遣。島根県消防学校へ教官として職員1名を派遣。総員83名となる。
		9	10	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成25年4月8日、国家試験に合格する。
		10	18	石見銀山農業協同組合より指揮支援車1台の寄贈を受け大田消防署に配置する。
		12	20	高規格救急自動車を更新し、西部消防署に配置する。
2013	平成25	4	1	退職に伴い職員3名採用する。総員84名となる。
		4	4	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成26年3月31日、国家試験に合格する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2018	平成30	4	5	救急救命東京研修所へ1名入校。 平成31年3月27日、国家試験に合格する。
		4	9	午前1時32分、大田市東部を震源とする島根県西部地震発生（M6.1、最大震度5強）。
		7 ～ 15	7	平成30年7月豪雨災害に伴う島根県緊急消防援助隊1次隊～4次隊（消火部隊4隊 20名）を広島県呉市へ派遣する。
		8	31	救急救命九州研修所へ1名入校。 平成31年3月27日、国家試験に合格する。
		10	1	高規格救急自動車を更新し、大田消防署に配置する。
		10	26	林野火災工作車を更新し、大田消防署に配置する。
2019	平成31	4	1	退職に伴い職員1名採用する。総員84名となる。 大田市役所危機管理課へ職員1名を派遣する。
		4	3	救急救命東京研修所へ1名入校。令和2年3月31日、国家試験に合格する。
2020	令和2	2	25	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を更新し、大田消防署に配置する。
		3	23	総務省消防庁より緊急消防援助隊に係る無償使用（高機能救命ボート）をうけ、大田消防署に配置する。
		3	25	大田消防署三瓶出張所新庁舎竣工。
		3	30	大田消防署三瓶出張所新庁舎竣工式。
		4	1	退職に伴い職員2名採用する。総員83名となる。

4. 歴代消防長

歴代	氏名	就任年月日	退職年月日
初代	田原孝二老	昭和33年 7月 1日	昭和41年 4月21日
二代	福田芳晴	昭和41年 4月22日	昭和43年 3月31日
三代	津森甚三郎	昭和44年 8月 1日	昭和45年 3月23日
四代	祝部通夫	昭和45年 7月10日	昭和54年11月30日
五代	鉦子郎	昭和55年 2月20日	昭和59年 2月19日
六代	塚田操	昭和59年 4月 1日	昭和60年 3月31日
七代	山崎栄吉	昭和60年 4月 1日	昭和60年 4月24日
八代	岩谷芳春	昭和60年 4月25日	昭和63年 3月31日
九代	妹尾義春	昭和63年 4月 1日	昭和63年 4月30日
十代	大築和之	昭和63年 5月 1日	平成7年 3月31日
十一代	米原孝美	平成7年 4月 1日	平成11年 3月31日
十二代	田中清英	平成11年 4月 1日	平成14年 3月31日
十三代	朝倉光彦	平成14年 4月 1日	平成15年 3月31日
十四代	品川昭治	平成15年 4月 1日	平成16年 3月31日
十五代	石田國雄	平成16年 4月 1日	平成17年 3月31日
十六代	福田幸司	平成17年 4月 1日	平成17年 9月30日
合併初代	福田幸司	平成17年10月 1日	平成18年 3月31日
二代	松井功	平成18年 4月 1日	平成20年 3月31日
三代	松本和広	平成20年 4月 1日	平成22年 3月31日
四代	鳥笥尾博	平成22年 4月 1日	平成23年 3月31日
五代	石賀好喜	平成23年 4月 1日	平成28年 3月31日
六代	幸村卓己	平成28年 4月 1日	現在

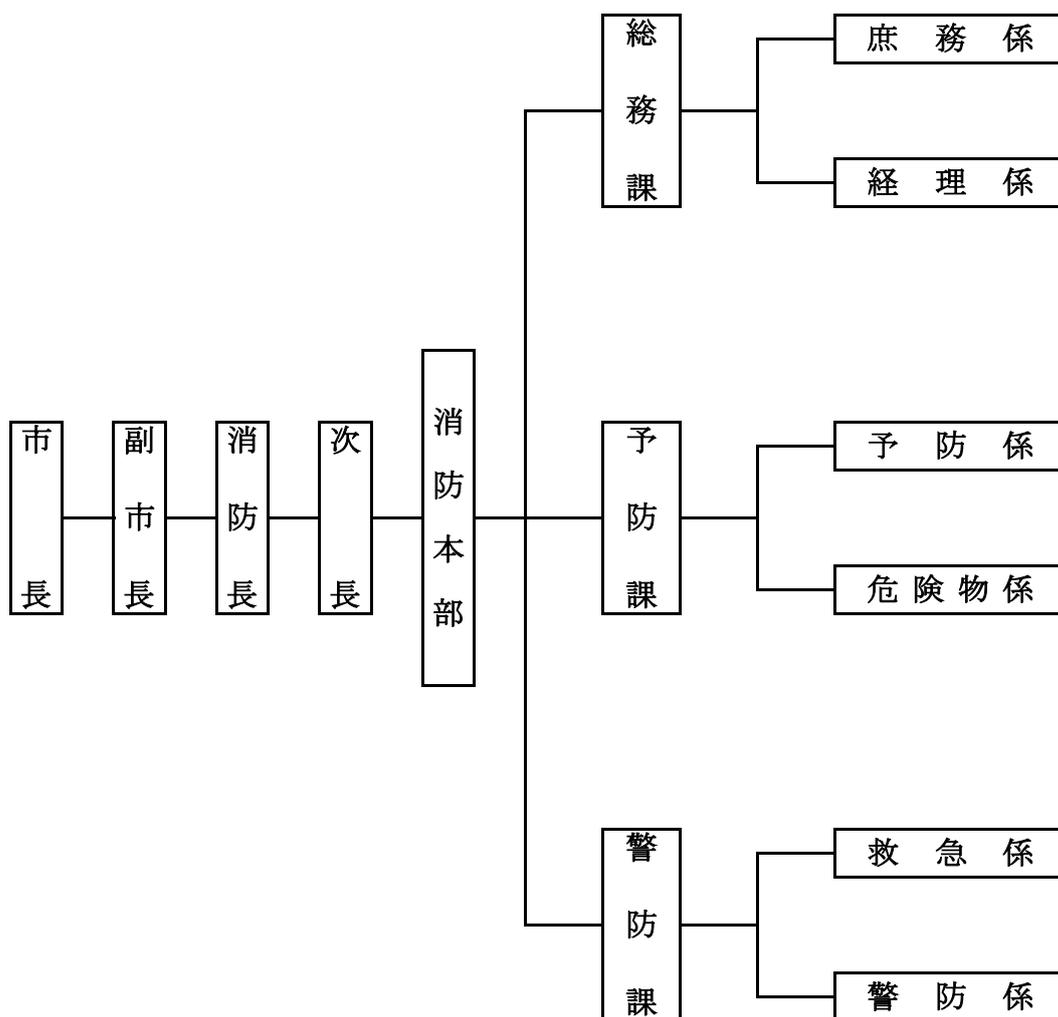
5. 消防庁舎等の現況

名 称	所 在 地	構 造 階 層	延面積 ㎡	敷地面積 ㎡	摘 要
消 防 本 部 (消 防 署)	大田市大田町大田 イ1番地1	庁舎棟 鉄筋コンクリート造 4階建 訓練塔 鉄筋コンクリート造 5階建	2,977.38 247.20	5,609.06	H26.5.22 竣工
大 田 消 防 署 三 瓶 出 張 所	大田市三瓶町志学 2075番地1	鉄骨造平屋建	284	1,325	R2.3.25 竣工
西 部 消 防 署	大田市温泉津町湯里 1307番地5	鉄骨造2階造	277.06	923.66	S48.3.31 竣工

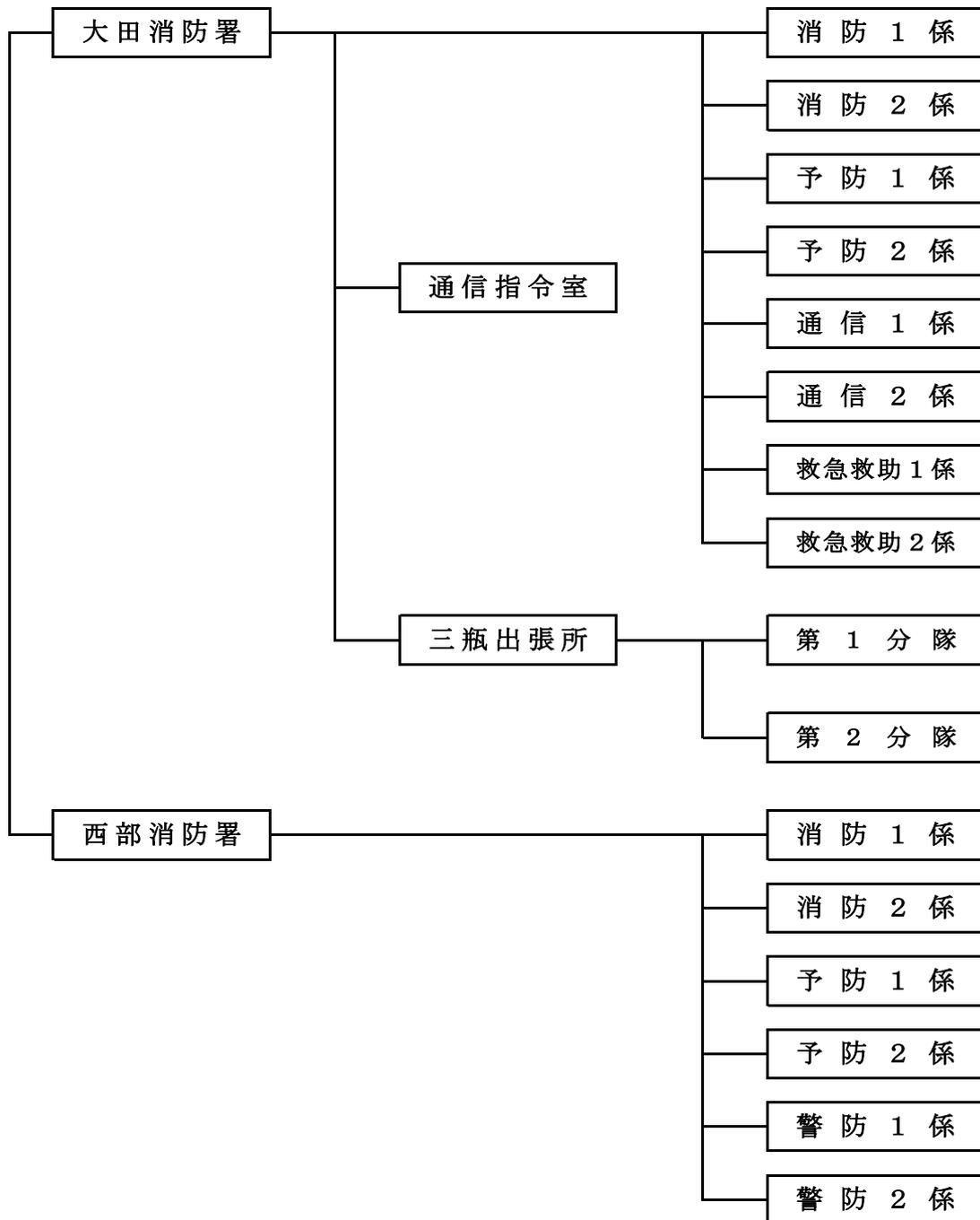
2. 総務編

1. 組織及び機構

消防本部の組織及び機構



消防署の組織及び機構



2. 事務分掌

区分 係	総務課
庶務係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公印の管守に関する事。 2. 表彰及び儀式に関する事。 3. 消防統計及び消防沿革に関する事。 4. 人事、給与及び服務規律に関する事。 5. 消防職団員の教養に関する事。 6. 消防職団員の衛生管理及び福利厚生に関する事。 7. 消防職団員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関する事。 8. 消防団員の人事、報酬、手当等に関する事。 9. 消防団の組織に関する事。 10. 消防職員委員会に関する事。
経理係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消防力の整備等の総合計画及び調整に関する事。 2. 消防予算、経理及び予算の執行に関する事。 3. 消防施設の設置及び管理に関する事。 4. 物品の出納、保管及び処分に関する事。 5. 補助金、その他財政に関する事。 6. 消防職団員の被服等の貸与及び管理に関する事。
区分 係	予防課
予防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防火思想の普及啓発に関する事。 2. 防火対象物の査察及び立入検査に関する事。 3. 建築物の確認等の同意及び指導に関する事。 4. 火災原因等の調査に関する事。 5. 火災統計及び報告に関する事。 6. 消防用設備等の設置及び指導に関する事。 7. 防火管理者の育成、指導に関する事。
危険物係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 危険物製造所等の許認可、届出等及び検査に関する事。 2. 高圧ガス製造施設等の許認可、届出等及び検査に関する事。 3. 液化石油ガスの許可、届出等及び検査に関する事。 4. 火薬類各種申請の許可、届出等及び検査に関する事。 5. 危険物関係の統計及び報告に関する事。 6. 危険物保安協会の事務に関する事。

係 区分	警 防 課
警防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 警防業務に係る統括及び企画、調整に関する事。 2. 消防基本計画に関する事。 3. 災害の警戒及び防ぎよに関する事。 4. 消防車両、機械器具等の購入（消防団含む）、維持及び管理に関する事。 5. 消防水利の設置、指定及び維持管理に関する事。 6. 消防訓練の計画及び指導に関する事。 7. 水防に関する事。 8. 消防相互応援協定に関する事。 9. 島根県防災ヘリコプターに関する事。 10. 緊急消防援助隊に関する事。 11. 救助統計及び報告に関する事。 12. 消防団の出動に関する事。
救急係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急統計及び報告に関する事。 2. 救急救命士に関する事。 3. メディカルコントロール協議会に関する事。 4. 応急手当の普及啓発に関する事。 5. 救急業務高度化及び救急広報に関する事。 6. 医療機関との連絡調整に関する事。 7. ドクターヘリ、ドクターカーに関する事。 8. 保健医療に関する事。 9. 災害医療に関する事。

区分 係	大 田 消 防 署
消防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害の活動及び報告に関すること。 2. 消防車両等の燃料に関すること。 3. 罹災証明、救急証明その他輕易な証明に関すること。 4. 地理調査、消防水利点検整備及び報告に関すること。 5. 消防車両等及び消防機械器具の点検整備及び報告に関すること。 6. 消防訓練（消防団含む）に関すること。 7. 職場見学及び体験に関すること。
予防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災予防の活動、報告に関すること。 2. 自主防災組織の訓練指導に関すること。 3. 消防活動上支障となる施設及び設備の調査に関すること。 4. 気象情報及び火災気象警報に関すること。 5. 火災予防条例に関すること。 6. 警防計画に関すること。 7. 火災原因調査に関すること。
通信係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消防通信に関すること。 2. 通信機器等の点検、報告に関すること。 3. 非常召集等に関すること。 4. 公共ネットワークに関すること。 5. 職員の勤務編成、福利厚生等に関すること。 6. 物品等の保管に関すること。
救急救助係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急、救助活動の統計及び報告に関すること。 2. 応急手当の指導に関すること。 3. 救急、救助資器材の管理、報告に関すること。 4. 救急、救助訓練に関すること。
区分 係	三 瓶 出 張 所
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大田消防署の各係に準ずる。

区分 係	西 部 消 防 署
消防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公印の管守に関する事。 2. 職員の勤務編成、福利厚生等に関する事。 3. 消防車両等の燃料に関する事。 4. 罹災証明、救急証明その他軽易な証明に関する事。 5. 公共ネットワークに関する事。 6. 職場見学及び体験に関する事。 7. 消防車両等及び消防機械器具の点検整備及び報告に関する事。 8. 消防通信に関する事。 9. 通信機器等の点検、報告に関する事。 10. 物品等の保管に関する事。
予防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火災予防の活動、報告に関する事。 2. 自主防災組織の訓練指導に関する事。 3. 火災予防条例に関する事。 4. 火災原因調査に関する事。 5. 消防用設備等の設置指導に関する事。 6. 防火管理者の育成、指導に関する事。 7. 防火対象物の査察及び立入検査に関する事。 8. 建築物の確認等の同意及び指導に関する事。
警防係	<ol style="list-style-type: none"> 1. 救急、救助活動の統計及び報告に関する事。 2. 応急手当の指導に関する事。 3. 救急、救助資器材の管理、報告に関する事。 4. 救急、救助訓練に関する事。 5. 災害の活動及び報告に関する事。 6. 警防計画に関する事。 7. 地理調査、消防水利点検整備及び報告に関する事。 8. 消防訓練（消防団含む）に関する事。 9. 消防活動上支障となる施設及び設備の調査に関する事。

3. 消防職員配置状況

区分		階級	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計	
大 田 市 消 防 本 部	消 防 長		1						1	
	消 防 次 長									
	総 務 課	課 長			1					1
		課長補佐			1					1
		庶務係長				1				1
		経理係長			(1)					(1)
		主 任					1			1
	予 防 課	課 長			1					1
		課長補佐			1					1
		予防係長				1				1
		危険物係長			(1)					(1)
		主 任					2			2
	警 防 課	課 長			1					1
		課長補佐								
		救急係長				1				1
		警防係長				1				1
大 田 消 防 署	署 長			1					1	
	副 署 長			2					2	
	第 1 小 隊	小 隊 長				4				4
		分 隊 長					6			6
		副分隊長						3		3
		隊 員							5	5
	第 2 小 隊	小 隊 長				4				4
		分 隊 長					6			6
		副分隊長						3		3
		隊 員							4	4
	救 助 隊	隊 長				(2)				(2)
		副 隊 長					(4)			(4)
		隊 員						(4)	(4)	(8)
通信指令室長			1						1	
三 瓶 出 張 所	所 長			1					1	
	副 所 長				1				1	
	第 1 分 隊	分 隊 長					1			1
		副分隊長						1		1
		隊 員							1	1
	第 2 分 隊	分 隊 長					1			1
		副分隊長						1		1
		隊 員							1	1
西 部 消 防 署	署 長			1					1	
	副 署 長			2					2	
	第 1 小 隊	小 隊 長			1	2				3
		分 隊 長					3			3
		副分隊長						2		2
		隊 員							1	1
	第 2 小 隊	小 隊 長				3				3
		分 隊 長					3			3
		副分隊長						2		2
隊 員							1	1		
防災航空隊派遣職員					1				1	
市総務部危機管理課			1						1	
計			1	15	18	24	12	13	83	

※ () は兼務職員、その他は主たる職務により集計

※再任用1名除く

4. 階級別勤務年数調

階級 年数	計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
1年未満	2						2
1～5年未満	8						8
5～10年未満	11					8	3
10～15年未満	21				17	4	
15～20年未満	14			7	7		
20～25年未満	4			4			
25～30年未満	16		9	7			
30年以上	7	1	6				
合計	83	1	15	18	24	12	13

※ 再任用職員1名除く

5. 階級別年齢調

階級 年齢	計	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
18歳～20歳	2						2
21歳～25歳	8						8
26歳～30歳	8					5	3
31歳～35歳	24				17	7	
36歳～40歳	17			10	7		
41歳～45歳	5		3	2			
46歳～50歳	9		4	5			
51歳～55歳	8		7	1			
56歳～60歳	2	1	1				
合計	83	1	15	18	24	12	13
平均年齢	36.9才						

※ 再任用職員1名除く

6. 常備消防予算及び主要事業

(単位：千円)

項 目		令和2年度 当初予算額	令和元年度 当初予算額	令和2年度 主要事業
常備消防費		732,386	784,999	
節	報 酬	—	—	・西部消防署庁舎 新築整備事業
	給 料	299,498	295,587	
	職 員 手 当 等	270,891	264,674	・多文化共生社会 緊急通報システム 等対応事業
	共 済 費	108,207	105,121	
	報 償 費	10	10	・消防隊員用防火 装備更新事業
	旅 費	2,349	2,109	
	需 用 費	17,431	15,734	
	役 務 費	6,406	5,754	
	委 託 料	9,267	9,627	
	使用料及び賃借料	1,687	1,354	
	備 品 購 入 費	10,090	78,180	
	負担金補助及び交付金	5,976	6,356	
公 課 費	574	493		

3. 予 防 編

1. 防火対象物現況調

防火対象物の区分			現在数	査察実施 件数	防火管理者 選任数
1	イ	劇場、映画館等	3	4	3
	ロ	公会堂又は集会場	60	37	35
2	イ	キャバレー等			1
	ロ	遊技場又はダンスホール	3	2	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	個室で客に利用させるカラオケボックス等	1		1
3	イ	待合、料理店等	1	1	4
	ロ	飲食店	21	23	19
4		百貨店、マーケット等	72	10	29
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	26	24	14
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	122		2
6	イ	病院、診療所又は助産所	32	7	13
	ロ	主として自力避難困難者が入所する社会福祉施設	17	17	14
	ハ	上記ロ以外の社会福祉施設	59	61	25
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	3	1	2
7		小学校、中学校、高等学校、各種学校等	58	9	20
8		図書館、博物館、美術館等	11	5	6
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	1		1
	ロ	上記イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1		
10		停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	3		
11		神社、寺院、教会等	43		2
12	イ	工場又は作業場	212	8	8
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	1		
13	イ	自動車車庫又は駐車場	15	1	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			
14		倉庫	178	1	
15		前各項に該当しない事業場	330	17	26
16	イ	特定用途部分が存する複合用途対象物	142	62	35
	ロ	上記イ以外の複合用途対象物	81	2	1
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財等	25	10	3
18		延長50メートル以上のアーケード			
19		市長村長の指定する山林			
20		総務省令で定める舟車			
合 計			1,521	302	267

*現在数のみ延べ面積150㎡以上（17項、18項は除く）を計上

2. 数量別・類別製造所等設置数

製造所等の別 数量類別		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			計
			屋 外 貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	販 売 取 扱 所	
施 設 数	平成30年度	2	9	14	46		51		14	29	33		198
	令和元年度	2	12	15	46		49		17	28	34		203
数 量 別	5倍以下			7	3		37		16		16		79
	5倍をこえ 10倍以下		11	5	5		6			4	13		44
	10倍をこえ 50倍以下	1	1	2	33		3			5	4		49
	50倍をこえ 100倍以下				1		2		1	7			11
	100倍をこえ 150倍以下			1	1		1			6			9
	150倍をこえ 200倍以下									1			1
	200倍をこえ 1,000倍以下	1			3					5	1		10
類 別	第 1 類												
	第 2 類												
	第 3 類												
	第 4 類	2	12	15	46		49		17	28	34		203
	第 5 類												
	第 6 類												

3. 危険物製造所等の申請取扱件数

許可等 区分	製造所等 の区分	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所			計	
			屋 外	屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	給 油	販 売		一 般
許 可	設 置		3	2						1		1	7
	変 更	1		2	1				3	4		7	18
完 成 検 査	設 置		3	1			1					1	6
	変 更	1		2	1				3	5		7	19
タン ク 検 査	水 張												
	水 圧									1			1
計		2	6	7	2		1		6	11		16	51

4. 消防事務手数料徴収状況

危険物 規制事務	種 別		件数	金額（円）
	製 造 所 等	許 可	設 置	7
変 更			18	398,000
完 成 検 査		設 置	6	29,500
		変 更	19	212,000
完 成 検 査 前 検 査	タンク水圧検査	1	6,000	
	タンク水張検査			
仮使用及び仮貯蔵・仮取扱			16	86,400
合 計			67	862,900

火薬類 規制事務	種 別	件数	金額（円）
	譲 受 許 可		
	譲 渡 許 可	6	7,200
	譲 受 消 費 許 可	12	73,800
	消 費 許 可（煙火）	6	47,400
	合 計	24	128,400

高圧ガス 規制事務	種別		件数	金額（円）	
	製造施設	許 可	設 置	1	54,000
			変 更		
	貯 蔵 所	許 可	設 置		
			変 更		
	完 成 検 査		設 置		
完 成 検 査		変 更			
保 安 検 査			2	180,000	
合 計			3	234,000	

5. 諸届（願）処理状況

法令関係届出処理状況

種 別	件 数
防火管理者選任（解任）届出	77
消防計画作成（変更）届出	101
消防訓練通知書	355
工事整備対象設備等着工届出	50
消防用設備等設置届出	74
消防用設備等検査済証交付	34
消防用設備等点検結果報告	426
防火対象物点検結果報告	42
防火対象物点検報告特例認定申請	4
圧縮アセチレンガス等の貯蔵取扱い届出	12
危険物保安監督者選任（解任）届出	11

火災予防条例届出処理状況

種 別	件 数
防火対象物使用開始届出	40
火を使用する設備等の設置届出	21
変電・発電、蓄電設備等設置届出	17
ネオン管灯設備設置届出	0
水素ガスを充てんする気球の設置届出	0
火災とまぎらわしい行為の届出	66
煙火打上げ・仕掛け届出	51
催物開催届出	1
水道断・減水届出	0
道路工事届出	633
指定洞道等届出	0
火災予防上必要な業務に関する計画提出	0
露店等の開設届出	64
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い届出	12
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い廃止届出	19

広報活動等実施状況

区 分	実施回数	備 考
市広報誌掲載	9	火災予防運動・各種試験案内等
訓 練 指 導	223	旅館・保育園・学校等
音 声 広 報	191	火災予防運動・気象状況に伴う広報等
巡 回 広 報	78	火災予防運動・歳末警戒等
防 火 チ ラ シ	4	火災予防運動・住警器啓発等
防 火 ポ ス タ ー	4	火災予防運動・住警器啓発等
防 火 看 板	12	火災予防・住警器啓発等
消防施設見学	21	小学校・幼稚園等

4. 警 防 編

1. 火災

概 要

(平成27年～令和元年中)

年・署所 区分		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年			
						計	大田消防署	西部消防署	三瓶出張所
火災 件数	建物	8	7	9	8	9	5	4	
	林野			3	3	4	2	1	1
	車両		2	2	2				
	船舶		1						
	その他	9	8	9	17	9	6	3	
	計	17	18	23	30	22	13	8	1
焼損 面積	建物	床面積(m ²)	400	630	1,025	548	1,714	1,387	327
		表面積(m ²)	16	21	24	113	126	78	48
		棟数	10	12	19	14	27	19	8
	林野(a)		2	11	95	26	5	6	15
罹災世帯		4	5	6	5	11	9	2	
罹災人員		11	11	11	8	22	19	3	
死者					1	3	2	1	
負傷者		3	4		3	1	1		
損害額 (千円)	建物	8,475	15,593	17,164	11,281	124,005	109,148	14,857	
	林野				552	53	6		47
	車両		628	341	4,235	220	220		
	船舶								
	その他	12	5	23	581	811	341	470	
	計	8,487	16,226	17,528	16,649	125,089	109,715	15,327	47

出火原因別火災件数・損害額

(令和元年中)

原因別	区分	出火件数	損害額 (千円)					
た	き	火	11	1,139				
火	入	れ	1	0				
た	ば	こ	0	—				
コ	ン	ロ	0	—				
ス	ト	ー	ブ	0	—			
電	気	機	器	0	—			
配	線	器	具	0	—			
放	火	・	放	火	疑	い	0	—
そ	の	他	2	2,251				
不	明	8	121,699					
合	計	22	125,089					

町別火災件数及び損害額

(令和元年中)

区分 町	火災件数						焼損面積		損害額					
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	計 (千円)	建物	林野	車両	船舶	その他
大田町	1					1								
川合町														
大屋町														
久利町	1	1					151		2,396	2,396				
富山町	1	1					388		10,925	10,365		220		340
朝山町														
波根町														
久手町	2	1				1	70		1,849	1,849				
鳥井町														
長久町	2	1	1				254	3	73,212	73,212				
静間町	2	1				1	524		21,326	21,326				
五十猛町	2		1			1		2	7			6		1
大森町														
水上町	2					2								
祖式町														
大代町	3	1	1			1	65	6	2,251	2,251				
三瓶町	池田	1		1				15	47			47		
	志学													
	多根													
山口町														
温泉津町	湯里	1				1			449					449
	温泉津	1	1				63		637	637				
	井田													
	福波													
仁摩町	仁万	1	1				48		3,942	3,921				21
	宅野	1				1								
	大国													
	馬路	1	1				151		8,048	8,048				
合計	22	9	4			9	1,714	26	125,089	124,005	53	220		811

※建物の焼損面積は床面積を計上している

月別町別火災発生状況

(令和元年中)

町名	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
	大田町							1						
川合町														
大屋町														
久利町									1					1
富山町						1								1
朝山町														
波根町														
久手町									1		1			2
鳥井町														
長久町						1						1		2
静間町	1										1			2
五十猛町						1					1			2
大森町														
水上町			1	1										2
祖式町														
大代町			1	1				1						3
三瓶町	池田				1									1
	志学													
	多根													
山口町														
温泉津町	湯里								1					1
	温泉津							1						1
	井田													
	福波													
仁摩町	仁万							1						1
	宅野												1	1
	大国													
	馬路	1												1
合計	2	2	2	1	3	1	3	3		3	1	1	22	

2. 救急

概 要

(令和元年中)

区分 年・月	出場 件数	搬送 人員	事 故 種 別											出 場 件 数 1 日 平 均	搬 送 人 員 1 日 平 均
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他		
2015年	1,804	1,756			4	86	17	14	295	6	14	1,030	338	4.94	4.81
2016年	1,894	1,844	1		5	97	20	12	299	4	13	1,118	325	5.17	5.04
2017年	1,894	1,847			1	95	27	10	307	1	17	1,075	361	5.19	5.06
2018年	1,997	1,934	1	2	5	112	23	17	279	2	15	1,182	359	5.47	5.30
2019年	1,916	1,868			4	90	22	17	257	1	13	1,119	393		
1月	181	176			1	3	3	1	20			112	41		
2月	124	121			1	5	2		17		1	69	29		
3月	139	134				2		1	16		3	84	33		
4月	158	153				11	1		26		2	97	21		
5月	138	136				5	1	1	21		1	87	22		
6月	184	178				6	5	3	26		2	107	35	5.25	5.12
7月	169	164			1	7	2	3	28		1	94	33		
8月	187	181				6	3	2	17	1	1	121	36		
9月	125	120				6	3	4	18			65	29		
10月	173	166			1	13	1	1	25			92	40		
11月	177	177				14	1	1	24		1	101	35		
12月	161	162				12			19		1	90	39		

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

署所別救急出場件数及び搬送人員

(令和元年中)

事故種別		合	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
署所		計	災	災害	難	通	働	動	般	害	損	病	他
						事	災	競	負		行		
						故	害	技	傷		為		
大田消防署	件数	1,471			3	71	17	6	177	1	5	814	377
	人員	1,437			2	72	17	6	171	1	4	791	373
西部消防署	件数	345			1	15	3	7	60		8	237	14
	人員	337				15	3	7	58		6	234	14
三瓶出張所	件数	100				4	2	4	20			68	2
	人員	94				4	2	4	17			66	1
合計	件数	1,916			4	90	22	17	257	1	13	1,119	393
	人員	1,868			2	91	22	17	246	1	10	1,091	388
比率%	出場件数	100.0%			0.2%	4.7%	1.1%	0.9%	13.4%	0.1%	0.7%	58.4%	20.5%

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

月別出場件数及び搬送人員

(令和元年中)

事故種別 月		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
1月	件数	181			1	3	3	1	20			112	41
	人員	176				3	3	1	20			108	41
2月	件数	124			1	5	2		17		1	69	29
	人員	121			1	5	2		17		1	67	28
3月	件数	139				2		1	16		3	84	33
	人員	134				2		1	15		2	81	33
4月	件数	158				11	1		26		2	97	21
	人員	153				9	1		25		2	95	21
5月	件数	138				5	1	1	21		1	87	22
	人員	136				6	1	1	19		1	86	22
6月	件数	184				6	5	3	26		2	107	35
	人員	178				5	5	3	25		1	106	33
7月	件数	169			1	7	2	3	28		1	94	33
	人員	164			1	7	2	3	27		1	90	33
8月	件数	187				6	3	2	17	1	1	121	36
	人員	181				6	3	2	14	1	1	118	36
9月	件数	125				6	3	4	18			65	29
	人員	120				5	3	4	18			62	28
10月	件数	173			1	13	1	1	25			92	40
	人員	166				13	1	1	24			88	39
11月	件数	177				14	1	1	24		1	101	35
	人員	177				17	1	1	23			100	35
12月	件数	161				12			19		1	90	39
	人員	162				13			19		1	90	39
計	件数	1,916			4	90	22	17	257	1	13	1,119	393
	人員	1,868			2	91	22	17	246	1	10	1,091	388

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

町別救急出場件数

(令和元年中)

事故種別 町	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
大田町	584				14	4	4	52	1		236	273
川合町	94				1			15			43	35
大屋町	20							3			17	
久利町	68				2			12		1	52	1
富山町	20				1			2			17	
朝山町	30				4			4			22	
波根町	89				2	2		11			31	43
久手町	170			2	16	5	1	23		2	117	4
鳥井町	78				3			13			60	2
長久町	143				13	2		16		2	91	19
静間町	50				2	1		7			40	
五十猛町	51			1	3	1	1	10			35	
大森町	22				2	1		4			15	
水上町	18				1			2			15	
祖式町	19				2			1			16	
大代町	14				1			2			11	
三瓶町	池田	51			3	1	1	10			34	2
	志学	39			1	2		8			28	
	多根	8			1						7	
山口町	13						3	4			6	
温泉津町	湯里	26				1		3			22	
	温泉津	65			4		1	10			50	
	井田	27			3			8			15	1
	福波	42			1	1	2	6		6	26	
仁摩町	仁万	94			2		5	15		1	58	13
	宅野	27						6			21	
	大国	12			1		1	2		1	7	
	馬路	42			7			8			27	
管轄外												
合計	1,916			4	90	22	17	257	1	13	1,119	393

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

年齢・傷病程度別搬送人員

(令和元年中)

年齢区分	事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
	傷病程												
新生児	死亡												
	重症	1										1	
	中等症	2										1	1
	軽症	2							1			1	
	その他												
乳幼児	死亡												
	重症												
	中等症	19				1						14	4
	軽症	18				1		1	5			10	1
	その他												
少年	死亡												
	重症	1											1
	中等症	12						3	2			5	2
	軽症	28						11	6			11	
	その他												
成人	死亡	5					1					4	
	重症	46				4	2		4			18	18
	中等症	159				17	9		17			67	49
	軽症	165				26	4	2	18	1	6	99	9
	その他	1				1							
高齢者	死亡	41			2				4		2	32	1
	重症	202				4	2		16		1	112	67
	中等症	830				12	3		114		1	487	213
	軽症	334				24	1		59			229	21
	その他	2				1							1
計	死亡	46			2		1		4		2	36	1
	重症	250				8	4		20		1	131	86
	中等症	1,022				30	12	3	133		1	574	269
	軽症	547				51	5	14	89	1	6	350	31
	その他	3				2							1
合計		1,868			2	91	22	17	246	1	10	1,091	388

(区分：その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)

(程度別：その他・・・医師の診断がないもの及び医療機関以外の場所へ搬送したもの)

ドクターヘリ地区別搬送人員

(令和元年中)

事故種別 町	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
大田町	39					1		1			2	35
川合町	2							1			1	
大屋町												
久利町	4										4	
富山町	1										1	
朝山町	1										1	
波根町	4							2			1	1
久手町	2											2
鳥井町	3				1						2	
長久町	5				1							4
静間町	2				1						1	
五十猛町	3							1			2	
大森町	1					1						
水上町	1										1	
祖式町	1										1	
大代町	1										1	
三瓶町	池田	2						1			1	
	志学	2				1		1				
	多根	1									1	
山口町	1						1					
温泉津町	湯里	1									1	
	温泉津	1									1	
	井田	3						3				
	福波	2				1					1	
仁摩町	仁万											
	宅野	3						1			2	
	大国	1									1	
	馬路	2				1					1	
管轄外												
合計	89				4	4	1	11			27	42
要請件数	109				6	4	1	14			41	43

(その他・・・転院、医師・資器材搬送及び分類不能のもの)
※平成23年6月13日より、ドクターヘリ運航開始

3. 救助

概 要

(令和元年中)

区 分	活 動 状 況					出 動 車 両							
	出 動 件 数	出 動 人 員	活 動 件 数	活 動 人 員	救 助 人 員	救 助 工 作 車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	化 学 車	指 揮 車 ・ 指 令 車	救 急 自 動 車	そ の 他 の 車 両	消 防 団 車 両	合 計
火 災													0
交 通 事 故	13	102	2	15	2	13	1		1	15			30
水 難 事 故	2	12	2	12	2	1	1			2			4
風 水 害 等 災 害													0
機 械 事 故													0
建 物 等 事 故													0
ガ ス 欠 及 び 事 故													0
破 裂 事 故													0
そ の 他 の 事 故	6	68	5	37	5	2			10	7	2		21
合 計	21	182	9	64	9	16	2	0	11	24	2	0	55

防災ヘリコプター要請件数

(平成6年4月～令和元年12月31日)

事 故 種 別	火 災	救 助	捜 索	現 場 救 急 搬 送	転 院 搬 送	そ の 他	合 計
平成6年～26年	2	17	3	4	3		29
平 成 2 7 年		2					2
平 成 2 8 年		2			4		6
平 成 2 9 年	1	1	1		3		6
平 成 3 0 年	2		1		2	1	6
令 和 元 年	1	4					5
合 計	6	26	5	4	12	1	54

※島根県防災航空隊発隊:平成6年4月1日

4. 消防

消防車両現有数

区分	車名	車種	型式	排気量	ポンプ級別	初年度登録
大田消防署	大田救急1 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H21.12
	大田救急2 (日産)	高規格救急車	CBF-FPWGE50改	3,490cc		H27.11
	大田救急3 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H30.9
	大田化学1 (イスゞ)	化学消防車	KK-FSR33G4V	8,220cc	A-2	H12.11
	大田タンク1 (日野)	水槽付ポンプ車	2KG-GX2ABA	5,120cc	A-2	R2.2
	大田ポンプ1 (日野)	消防ポンプ車	BDG-XZU378M	4,000cc	A-2	H21.10
	大田ポンプ2 (日野)	消防ポンプ車	BDG-XZU378M	4,000cc	A-2	H19.10
	大田林野1 (トヨタ)	林野火災工作車	LDF-KDY281	2,980cc		H30.10
	大田救助1 (イスゞ)	救助工作車	KK-FSR34G4	7,790cc		H15.1
	大田指揮1 (トヨタ)	消防指揮車	GF-MCU15W	2,990cc		H12.8
	大田広報1 (日産)	広報車	CBE-VAY12	1,240cc		H25.3
	大田広報2 (トヨタ)	広報車	GE-RZH112V	1,990cc		H12.10
	大田支援1 (トヨタ)	指揮支援車	CBF-TRH226S	2,690cc		H24.10
	大田軽1 (スゞキ)	—	GBD-HA24V	650cc		H20.8
	大田軽2 (三菱)	—	GBD-U62V	650cc		H22.2
	西部消防署	西部救急1 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc	
西部救急2 (日産)		高規格救急車	CBF-FPWGE50改	3,490cc		H24.12
西部ポンプ1 (日野)		消防ポンプ車	PD-XZU378M	4,000cc	A-2	H17.1
西部指揮1 (日産)		消防指揮車	EBD-DR64V	650cc		H26.8
三瓶出張所	三瓶救急1 (トヨタ)	高規格救急車	CBF-TRH226S	2,690cc		H25.10
	三瓶ポンプ1 (日野)	消防ポンプ車	SKG-XZU685M	4,000cc	A-2	H23.11

無線通信施設

【基地局】

		空中線電力	計
デジタル	高山中継局	20W	4局
	三瓶中継局	20W	
	邑南中継局	20W	
	江津中継局	10W/20W	

【陸上移動局】

		大田消防署	大田消防署 三瓶出張所	西部消防署	小計	合計
デジタル	半固定型 (5W)		1	1	2局	46局
	車載型 (5W)	13	2	3	18局	
	携帯型 (1W)	16	3	4	23局	
	可搬型 (5W)	1			1局	
アナログ	携帯型 (5W)	1			1局	
	可搬型 (10W)	1			1局	

消防水利地区別状況

区分 町	消 火 栓		防 火 水 槽								指定 水利	その他
	公設	私設	100 t 以上		60 t 以上100t未満		40 t 以上60 t 未満		20 t 以上40 t 未満			
大田町	76	2	公	1	公	1	公	24	公	8	1	2
			私		私		私	3	私	4		
長久町	28	3	公		公	2	公	8	公	8		1
			私		私		私	2	私	4		
静間町	12		公		公		公	7	公	8		1
			私		私		私	1	私	2		
鳥井町	14		公	1	公		公	5	公	1		1
			私		私		私	2	私	2		
久手町	51		公		公	5	公	16	公	10		2
			私		私		私	4	私			
波根町	12	1	公		公		公	7	公	4		1
			私		私	1	私		私	1		
川合町	18	4	公		公		公	11	公	3		1
			私		私		私	3	私	2		
久利町	11		公		公		公	8	公			1
			私		私		私		私			
朝山町	2		公		公		公	3	公	5		
			私		私		私	3	私			
富山町			公		公		公	2	公	3		1
			私		私		私		私			
山口町			公		公		公	4	公	2		
			私		私		私		私			
三瓶町	13	4	公		公	1	公	20	公	8		3
			私		私		私	4	私	1		
五十猛町	12		公		公		公	6	公	5		
			私		私		私		私	1		
大屋町			公		公		公	1	公	1		
			私		私		私		私			
大森町	39		公		公		公	2	公	1		
			私		私		私		私			
水上町			公		公		公	2	公	2		2
			私		私		私	1	私	1		
祖式町			公		公		公	2	公	2		1
			私		私		私		私			
大代町	2		公	3	公	1	公	2	公	2		1
			私		私		私		私			
温泉津町	86		公		公	2	公	29	公	2		6
			私		私		私		私			
仁摩町	156	1	公		公		公	42	公	3		14
			私		私		私	1	私			
合 計	532	15	5 (内私設0)		13 (内私設1)		225 (内私設24)		96 (内私設18)		1	38

公設消火栓532基の内150mm未満 283基

私設 " 15基の内 " " 12基

指定水利は三瓶川 その他の水利内訳は河川・港・プール

5. 消防団編

1. 大田市消防団の沿革

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事	
旧大田市消防団の沿革					
1954	昭和29	1	1	安濃郡大田町、久手町、長久村、鳥井村、波根東村、川合村及び邇摩郡久利村、静間村の2町6ヵ村による第1次合併する。	
			4	1	安濃郡佐比売村、朝山村、富山村、簸川郡山口村の4ヵ村による第2次合併する。
			4	3	大田市大田町、久手町、長久村、鳥井村、波根東村、川合村、佐比売村、朝山村、富山村、邇摩郡久利村、静間村、簸川郡山口村12ヵ町村により大田市消防団が発足する。 編 成 12分団 団員数 1,457人 装 備 自動車ポンプ 5台 可搬式動力ポンプ 22台 手引動力ポンプ 7台 腕用ポンプ 51台
1955	昭和30	2	11	日本消防協会から表彰旗を受賞した。	
			5	3	第1回島根県消防操法競技大会にて手引消防ポンプ操法の部3位入賞した。
			7	8	島根県消防協会から表彰旗の副賞として鳶を授与された。
			10	1	消防装備の拡充強化に伴う、第2次機構改革する。 編 成 12分団 団員数 727人 装 備 自動車ポンプ 5台 可搬式動力ポンプ 39台 手引動力ポンプ 7台 腕用ポンプ 3台
1956	昭和31	4	8	第2回島根県消防操法大会にて自動車ポンプの部優勝する。	
			4	28	第2回中国5県消防ポンプ操法大会にて自動車ポンプの部優勝する。
			9	30	邇摩郡五十猛村、大屋村、大森町、邑智郡祖式村の1町3村を編成し第3次合併する。 編 成 16分団 団員数 952人
1957	昭和32	8	20	島根県消防協会から第1線竿頭綬を授与された。	
1958	昭和33	12	30	邑智郡川本町大代地区を編入合併する。 編 成 17分団 団員数 1,032人	
1959	昭和34	4	8	第5回島根県消防操法大会にて手引動力ポンプの部優勝、自動車ポンプの部3位入賞した。	
1962	昭和37	1	5	島根県消防協会から第3線竿頭綬を授与された。	
			7	第8回島根県消防操法大会（川本町）に大代分団が出場する。	
1963	昭和38	5	7	第9回島根県消防操法大会にて可搬動力ポンプの部3位入賞した。	

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1964	昭和39	10	1	常備消防の拡充強化に伴う第3次機構改革する。 編 成 17分団 団員数 643人 装 備 輸送車 6台 可搬式動力ポンプ 67台 手引動力ポンプ 4台
			11	27 分団管轄区域を見直し、水上、多根、志学分団を編成し20分団とする。
1965	昭和40	12	28	小型動力ポンプ輸送車2台購入、波根、久手分団に配置する。
1966	昭和41	6	1	6 島根県消防協会から第4線竿頭綬を授与された。
			13	小型動力ポンプ輸送車1台購入、富山分団に配置する。
1967	昭和42	3	3	消防庁長官から消防機関に竿頭綬を授与された。
			13	小型動力ポンプ輸送車1台購入、久手分団に配置する。
1968	昭和43	7		第14回島根県消防操法大会（江津市）に山口分団が出場する。
1969	昭和44	12	1	6 島根県消防協会より第5線竿頭綬を授与された。
			1	小型動力ポンプ輸送車2台購入、山口、祖式分団に配置する。
1970	昭和45	11	6	小型動力ポンプ輸送車2台購入、久利、大屋分団に配置する。
1971	昭和46	10	29	小型動力ポンプ輸送車4台購入、多根、朝山、大森、水上分団に配置する。
			12	4 昭和46年6・7月の豪雨災害の功績により島根県知事から表彰状を授与された。
1972	昭和47	9	5	小型動力ポンプ積載車5台購入、池田、久手、鳥井、長久、静間分団に配置する。
			8	昭和46年6・7月の豪雨災害の功績により内閣総理大臣から表彰状を授与された。
1973	昭和48	4	1	6 島根県消防協会より第6線竿頭綬を授与された。
			20	小型動力ポンプ輸送車1台購入、大田分団に配置する。
			18	小型動力ポンプ輸送車1台購入、五十猛分団に配置する。
1974	昭和49	7		第20回島根県消防操法大会（斐川町）に山口分団が出場する。
			9	小型動力ポンプ輸送車2台購入、川合、大代分団に配置する。
1975	昭和50	7	17	小型動力ポンプ輸送車2台購入、志学分団に配置、久手分団更新する。
			7	第21回島根県消防操法大会（金城町）に山口分団が出場する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1975	昭和50	7	22	小型動力ポンプ輸送車 2 台購入、久利、大屋分団に配置する。
1976	昭和51	2	1	昭和 5 0 年 7 月の豪雨災害の功績により建設大臣から表彰状を授与された。
		7		第 2 2 回島根県消防操法大会（広瀬町）に多根分団が出場する。
1977	昭和52	7		第 2 3 回島根県消防操法大会（津和野町）に多根分団が出場する。
1978	昭和53	7		第 2 4 回島根県消防操法大会（横田町）に長久分団が出場する。
		9	5	小型動力ポンプ輸送車 1 台更新、久手分団に配置する。
1979	昭和54	7		第 2 5 回島根県消防操法大会（邑智町）に多根分団が出場し 6 位となる。
1980	昭和55	4	1	大田市消防団ラッパ隊発足する。隊長以下 1 2 名。
		7		第 2 6 回島根県消防操法大会（玉湯町）に朝山分団が出場し 8 位となる。
		9	5	小型動力ポンプ輸送車 1 台購入、大代分団に配置する。
1981	昭和56	3	4	消防庁長官から消防機関に消防旗を授与された。
		6	18	小型動力ポンプ輸送車 1 台更新、富山分団に配置する。
		7		第 2 7 回島根県消防操法大会（浜田市）に長久分団が出場する。
1982	昭和57	1	5	島根県消防協会より第 7 線竿頭綬を授与された。
		2	10	日本消防協会より竿頭綬を授与された。
		7	30	小型動力ポンプ輸送車 2 台更新、山口、祖式分団に配置する。
		7		島根県消防大会（佐田町）に大代分団が出場する。
		11	1	消防団活動の拠点施設として消防センターを竣工する。
1983	昭和58	7	16	小型動力ポンプ輸送車 2 台更新、川合、大代分団に配置する。
1984	昭和59	6	8	小型動力ポンプ輸送車 1 台更新、志学分団に配置する。
		7		第 2 8 回島根県消防操法大会（安来市）に大代分団が出場する。
1985	昭和60	7		第 2 9 回島根県消防操法大会（江津市）に長久分団が出場する。
		8	21	小型動力ポンプ輸送車 2 台更新、大森、池田分団に配置する。
		9	2	小型動力ポンプ 4 台更新、朝山、大屋、祖式、大代分団に配置する。
1986	昭和61	7	8	小型動力ポンプ輸送車 2 台更新、長久、水上分団に配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1986	昭和61	7	27	第30回島根県消防操法訓練大会（出雲市）において長久分団が出場し小型ポンプの部5位入賞する。
1987	昭和62	1	24	小型動力ポンプ1台更新、波根分団に配置する。
		4	1	緊急伝達システムを導入し、防災無線の整備を図る。
		6	29	小型動力ポンプ輸送車3台更新、大田、池田、静間分団に配置する。
		7	15	小型動力ポンプ輸送車1台更新、鳥井分団に配置する。
		7	26	第31回島根県消防操法訓練大会（桜江町）において久手分団が出場し、優勝する。
1988	昭和63	7		第32回島根県消防操法訓練大会（美保関町）において久手分団が出場し、小型ポンプの部8位となる。
		9	17	小型動力ポンプ1台更新、大代分団に配置する。
1989	平成元	8	27	第33回島根県消防操法訓練大会（日原町）において小型ポンプの部大代分団2位入賞する。
		10	20	小型動力ポンプ輸送車2台更新、久利、大屋分団に配置する。
1990	平成2	6	27	凸型動力ポンプ輸送車2台更新、山口、久手分団に配置する。
		7		第34回島根県消防操法大会（東出雲町）に久利分団が出場し20位となる。
1991	平成3	3	30	小型動力ポンプ輸送車2台更新、富山、大代分団に配置する。
		8	25	第35回島根県消防操法大会（大田市）に久手分団が出場し、小型ポンプの部2位入賞する。
1992	平成4	1	5	島根県消防協会から第8線竿頭綬を授与された。
		7		第36回島根県消防操法大会（宍道町）に久利分団が出場し、小型ポンプの部23位となる。
		8	8	島根県知事から消防機関に表彰旗を授与された。
		8	19	小型動力ポンプ輸送車1台更新、久手分団に配置する。
1993	平成5	6	29	小型動力ポンプ輸送車1台更新、波根分団に配置する。
		7		第37回島根県消防操法大会（三隅町）に久手分団が出場し、小型ポンプの部7位となる。
		7	20	小型動力ポンプ1台更新、朝山分団に配置する。
1994	平成6	7	20	小型動力ポンプ1台更新、富山分団に配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
1994	平成6	7		第38回島根県消防操法大会（仁多町）に久利分団が出場し、小型ポンプの部5位入賞する。
		8	22	日本消防協会より普通自動車（1800cc）の寄贈を受けた。
1995	平成7	7	14	小型動力ポンプ輸送車1台更新、多根分団に配置する。
		7		第39回島根県消防操法大会（仁摩町）に久利分団が出場し、小型ポンプの部13位となる。
1996	平成8	7		第40回島根県消防操法大会（西郷町）に波根分団が出場し、小型ポンプの部26位となる。
		12	12	小型動力ポンプ2台更新、静間、五十猛分団に配置する。
1997	平成9	2	14	日本消防協会から竿頭綬を授与された。
		7		第41回島根県消防操法大会（六日市町）に波根分団が出場し、小型ポンプの部20位となる。
		12	19	小型動力ポンプ輸送車1台購入、大田分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車2台更新、富山、志学分団に配置する。 小型動力ポンプ3台更新、鳥井、多根、祖式分団に配置する。
1998	平成10	7		第42回島根県消防操法大会（三刀屋町）に久手分団が出場し、小型ポンプの部16位となる。
1999	平成11	1	7	小型動力ポンプ輸送車1台購入、志学分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車2台更新、山口、朝山分団に配置する。 小型動力ポンプ3台更新、大田、池田、山口分団に配置する。
		7		第43回島根県消防操法大会（川本町）に波根分団が出場し、小型ポンプの部12位となる。
		11	25	小型動力ポンプ1台更新、鳥井分団に配置する。
		12	13	小型動力ポンプ3台更新、富山、志学、大代分団に配置する。
2000	平成12	1	6	小型動力ポンプ輸送車2台更新、祖式、大代分団に配置する。
		4	1	大田市消防団機構改革検討委員会を設置する。
		7		第44回島根県消防操法大会（平田市）に波根分団が出場し、小型ポンプの部12位となる。
		8	10	小型動力ポンプ輸送車3台更新、大田、川合、五十猛分団に配置する。小型動力ポンプ4台更新、川合、長久、久利、五十猛分団に配置する。
2001	平成13	8	4	第45回島根県消防操法大会において（柿木村）小型ポンプの部、大代分団4位入賞する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2001	平成13	8	10	小型動力ポンプ輸送車3台更新。長久、大森、水上分団に配置する。小型動力ポンプ3台更新。大田、久手、静間分団に配置する。
2002	平成14	8	4	第46回島根県消防操法大会（簸川町）に祖式分団が出場し、小型ポンプの部19位となる。
		9	24	小型動力ポンプ3台更新。大屋、川合、静間分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車2台更新。大代、池田分団に配置する。 小型動力ポンプ輸送車4台増車。多根、波根、川合、静間分団に配置する。
2003	平成15	8	4	第47回島根県消防操法大会（旭町）に祖式分団が出場し、小型ポンプの部19位となる。
		10	1	大田市消防団平成第1次機構改革により、消防団員数を643人から557人とする。又、班数を69班から60班とする。
		10	10	静間分団に消防格納庫新築する。
		10	30	大屋分団に消防格納庫新築する。
		11	4	大田市消防団平成第1次機構改革に伴う小型動力ポンプ輸送車5台増車（普1、軽4）及び軽1台更新。大田（普）、鳥井、池田、五十猛、水上分団に増車配置及び久手分団に更新配置する。 小型動力ポンプ3台更新。多根、静間、大代分団に配置する。
2004	平成16	8	29	第48回島根県消防操法大会（八雲村）に長久分団が出場し16位となる。
		11	4	小型動力ポンプ3台更新。久手、池田、富山分団に配置する。 大田市消防団平成第2次機構改革に伴う小型動力ポンプ輸送車5台増車。 普通車を大屋、静間分団に、軽自動車を川合、五十猛、祖式分団に各配置する。
		11	10	五十猛分団、静間分団及び長久分団に消防格納庫新築する。
2005	平成17	8	7	第49回島根県消防操法大会（邑南町）に大代分団が出場し4位となる。
		10	1	大田市・温泉津町・仁摩町1市2町の合併により新大田市となり、消防団員数を844名とする新大田市消防団が発足する。
				旧温泉津町消防団の沿革
1954	昭和29	4	1	井田村、福波村、温泉津町、湯里村の4町村が合併し、消防団員数336名とする温泉津町消防団が発足する。
1958	昭和33	4	1	臨用ポンプ、手引動力ポンプ、小型動力ポンプへの切り替え等により消防団員数263名となる。
1962	昭和37	4	1	消防団員数227名となる。
1982	昭和57	4	1	消防団員数184名となり、消防自動車3台、小型動力ポンプ積載車14台、小型動力ポンプ14台を配備する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2005	平成17	10	1	1市2町合併により新大田市消防団として現在に至る。 旧仁摩町消防団の沿革
1954	昭和29	4	1	仁万村、宅野村、大国、馬路村消防団の4消防団が合併し、仁摩町消防団が発足する。
2005	平成17	10	1	1市2町合併により新大田市消防団として現在に至る。 大田市消防団の沿革（合併後）
2005	平成17	10	1	大田市・温泉津町・仁摩町1市2町の合併により新大田市となり、消防団員数を844名とする新大田市消防団が発足する。
		11	1	志学分団、久手分団、水上分団に消防格納庫新築する。
		11	25	輸送車2台更新。軽自動車（鳥井、久利分団）に、小型動力ポンプ（長久分団）に更新配置する。 大田市消防団平成第2次機構改革に伴う輸送車4台増車。 普通車を朝山分団に、軽自動車を久手、大代、長久分団に各配置する。
2006	平成18	3	1	大田消防署より山口分団へ4WD車を配置し、山口分団の輸送車を五十猛分団へ配置する。
		8	6	第50回島根県消防操法大会（加茂町）に大田地区代表久手分団、温泉津地区代表湯里分団が出場し、久手分団が5位となる。
		11	2	久手分団に消防格納庫新築する。
		11	8	長久分団に消防格納庫新築する。
		12	18	輸送車4台購入（内軽3台更新、内軽1台増車）更新軽3台を大屋、静間、山口分団へ配置する。増車分（軽1台）を富山分団へ配置する。
2007	平成19	3	15	長久分団に消防格納庫新築する。
		3	16	普通輸送車1台購入（増車）長久分団へ配置する。
		8	5	第51回島根県消防操法大会（益田市）に大田地区代表井田・長久分団が出場し、長久分団8位、井田分団10位となる。
		8	31	普通輸送車1台購入（増車）五十猛分団へ配置する。
		10	24	久利分団に消防格納庫を新築する。
		11	6	山口分団に消防格納庫を新築する。
		12	20	軽輸送車4台購入（更新）久手・大代・富山分団（増車）久利分団へ配置する。小型動力ポンプ2台購入（更新）久手・五十猛分団へ配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2008	平成20	8	3	第52回島根県消防操法大会（出雲市）に大田地区代表久手・温泉津分団が出場し、久手分団6位、温泉津分団16位となる。
			21	普通輸送車1台購入（更新）湯里分団へ、軽輸送車1台購入（更新）大国分団へ配置する。 小型動力ポンプ4台購入（更新）大田・長久・水上・大代分団へ配置する。
2009	平成21	8	9	第53回島根県消防操法大会（大田市）に大田地区代表久手・大代分団が出場し、久手分団4位、大代分団13位となる。
			26	軽輸送車1台購入（更新）井田分団へ配置する。 小型動力ポンプ3台購入（更新）川合・志学・久利分団へ配置する。
2010	平成22	2	10	日本消防協会より表彰旗を授与された。
			16	総務省消防庁より消防団救助資機材1セットを無償貸与される。
			31	大国分団に消防格納庫を新築する。
			7	総務省消防庁より消防団救助資機材搭載型車両（小型動力ポンプ積載）を無償貸与される。
			1	第54回島根県消防操法大会（安来市）に大田地区代表宅野・湯里分団が出場し、宅野分団18位、湯里分団20位となる。
			4	軽輸送車2台購入（更新）宅野・福波分団へ配置する。 小型動力ポンプ1台購入（更新）波根分団へ配置する。
2011	平成23	8	7	第55回島根県消防操法大会（浜田市）に大田地区代表波根・大国分団が出場し、波根分団13位、大国分団20位となる。
			13	軽輸送車2台購入（更新）井田・宅野分団へ配置する。 小型動力ポンプ3台購入（更新）五十猛分団、朝山分団、大屋分団へ配置する。
2012	平成24	2	29	普通輸送車1台購入（更新）井田分団へ配置する。
			30	仁万分団に消防格納庫を新築する。
			5	第56回島根県消防操法大会（奥出雲町）に大田地区代表馬路・井田分団が出場し、馬路分団17位、井田分団18位となる。
			20	軽輸送車6台購入（更新）久手・山口・福波・馬路・湯里分団へ配置する。 小型動力ポンプ3台購入（更新）祖式・波根・湯里分団へ配置する。
			11	島根県消防協会第2回臨時理事会において島根県消防操法大会出場枠の見直しが行われ大田地区の出場枠が2から1となる。
2013	平成25	2	20	池田分団に消防格納庫を新築する。
			4	第57回島根県消防操法大会（江津市）に長久分団が出場し、10位となる。

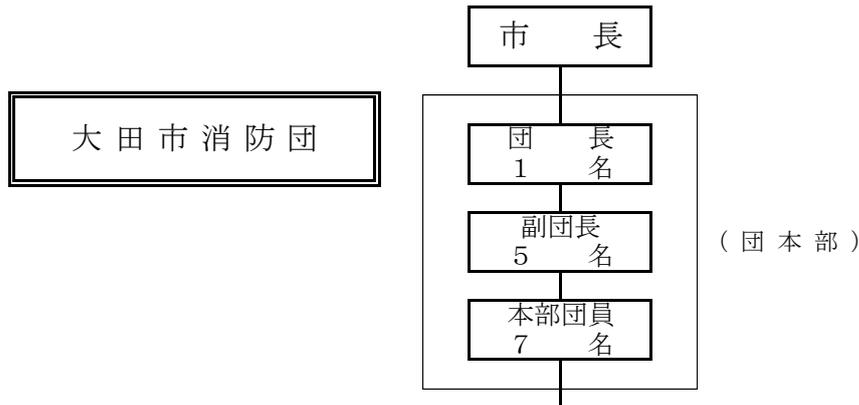
西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2013	平成25	10	22	普通輸送車2台購入（更新）波根・温泉津分団へ配置する。 軽輸送車5台購入（更新）大国（2台）・井田・湯里・仁万分団へ配置する。 小型動力ポンプ2台購入（更新）水上・温泉津分団へ配置する。
2014	平成26	8	3	第58回島根県消防操法大会（松江市）に、平成25年5月に開催した第55回大田市消防操法大会において2位の山口分団が出場し、17位となる。
2015	平成27	3	24	温泉津分団に消防格納庫を新築する。
		8	9	第59回島根県消防操法大会（益田市）に、平成26年5月に開催した第56回大田市消防操法大会において優勝した宅野分団が出場し、5位となる。
		10	27	普通輸送車1台購入（更新）、小型動力ポンプ1台購入（更新）温泉津分団へ配置する。
2016	平成28	3	6	総務省消防庁より消防団等地域活動表彰を受章する。
		7	31	第60回島根県消防操法大会（出雲市）に、平成27年5月に開催した第57回大田市消防操法大会において優勝した井田分団が出場し、準優勝となる。
		10	14	小型動力ポンプ1台購入（更新）大森分団へ配置する。
		12	20	消防団員の確保にかかる貢献が認められ、総務大臣感謝状を受章する。
2017	平成29	1	29	大田市消防団教育講演会を実施する。
		3	24	波根分団に消防格納庫を新築する。
		7	30	第61回島根県消防操法大会（大田市）に、平成28年5月に開催した第58回大田市消防操法大会において優勝した久手分団が出場し、16位となる。
2018	平成30	1	23	川合分団に消防格納庫を新築する。
		4	9	午前1時32分、大田市東部を震源とする島根県西部地震発生（M6.1、最大震度5強）。
		7	24	鳥井分団に消防格納庫を新築する。
		7	29	第59回大田市消防操法大会において優勝した山口分団が出場予定であった第62回島根県消防操法大会（雲南市）は台風の影響により中止となる。
		11	5	軽輸送車1台購入（更新）湯里分団へ配置する。 小型動力ポンプ1台購入（更新）大代分団へ配置する。
2019	令和元	7	27	第63回島根県消防操法大会（浜田市）に、平成30年5月に開催した第60回大田市消防操法大会において優勝した朝山分団が出場し、17位となる。
		10	8	軽輸送車2台購入（更新）富山・福波分団へ配置する。 小型動力ポンプ1台購入（更新）湯里分団へ配置する。

西暦	元号	月	日	主 な 出 来 事
2020	令和2	3	16	総務省消防庁より救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車の無償貸与を受け、温泉津分団に配置する。

2. 歴代消防団長

歴代	氏名	就任年月日	退職年月日
初代	岩屋初太郎	昭和29年 4月 1日	昭和30年 9月30日
二代	福田芳晴	昭和30年10月 1日	昭和41年 4月20日
三代	福田與三郎	昭和41年 4月21日	昭和52年 12月4日
四代	森脇光之助	昭和52年12月 5日	昭和58年12月4日
五代	三谷要	昭和58年12月 5日	平成3年 9月30日
六代	築森砂雄	平成3年10月 1日	平成11年 9月30日
七代	波多野正信	平成11年10月 1日	平成17年 9月30日
合併初代	波多野正信	平成17年10月 1日	平成18年 3月31日
二代	片岳俊治	平成18年 4月 1日	平成20年 3月31日
三代	中田正敏	平成20年 4月 1日	令和2年 3月31日
四代	福間達雄	令和2年 4月 1日	現在

3. 組織及び報酬等



平成28年4月1日改正

大田地区																				温泉津地区				仁摩地区			
第1ブロック				第2ブロック				第3ブロック				第4ブロック				第5ブロック				第6ブロック				第7ブロック			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
大田分団	大田分団	久利分団	川合分団	久手分団	波根分団	朝山分団	富山分団	長久分団	鳥井分団	静間分団	五十猛分団	大森分団	祖式分団	大代分団	水上分団	志学分団	池田分団	山口分団	多根分団	温泉津分団	湯里分団	井田分団	福波分団	仁万分団	宅野分団	大國分団	馬路分団
30名	18名	17名	32名	43名	24名	20名	27名	31名	19名	29名	34名	21名	22名	41名	24名	20名	20名	21名	19名	46名	35名	52名	29名	54名	30名	39名	34名
97名				114名				113名				108名				80名				162名				157名			
消防団階級別								団長	副団長	本部団員	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計											
人員数								1名	5名	7名	28名	28名	28名	81名	666名	844名											

年 報 酬 額

平成20年4月1日改正

団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
67,000円	55,000円	42,000円	31,000円	27,000円	22,000円	19,000円

諸 手 当

平成20年4月1日改正

種 別	単 位	金 額	支 給 対 象
整 備 手 当	年 額	4,000円	定例の機械点検を委嘱した者
普通自動車運転手当	年 額	8,000円	自動車運転手に委嘱した者
軽自動車運転手当	年 額	5,000円	自動車運転手に委嘱した者
会 議 手 当	1 日	3,000円	団役員会、分団役員会に出席した者
出 場 手 当	1 回	3,500円	水火災現場に出場した者
警 戒 手 当	1 回	3,000円	警戒勤務に服した者
訓 練 手 当	1 回	3,000円	定例の訓練又は特別訓練に勤務した者
出初式出場手当	1 回	3,000円	出初式に出場した者

4. 編成装備

区分	編 成 人 員										装備関係	
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	条約定数	増減	小型動力ポンプ	輸送車
団本部	1	5					17	23	13	10		
大田分団			1	1	1	3	24	30	30	0	3	3
川合分団			1	1	1	3	27	33	32	1	3	3
大屋分団			1	1	1	2	13	18	18	0	2	2
久利分団			1	1	1	2	12	17	17	0	2	2
富山分団			1	1	1	3	20	26	27	-1	3	3
朝山分団			1	1	1	2	15	20	20	0	2	2
波根分団			1	1	1	2	19	24	24	0	2	2
久手分団			1	1	1	4	36	43	43	0	4	4
鳥井分団			1	1	1	2	14	19	19	0	2	2
長久分団			1	1	1	3	26	32	31	1	3	3
静間分団			1	1	1	3	25	31	29	2	3	3
五十猛分団			1	1	1	4	31	38	34	4	4	4
大森分団			1	1	1	2	16	21	21	0	2	1
水上分団			1	1	1	2	16	21	24	-3	2	2
祖式分団			1	1	1	2	17	22	22	0	2	2
大代分団			1	1	1	4	33	40	41	-1	4	4
池田分団			1	1	1	2	15	20	20	0	2	2
志学分団			1	1	1	2	13	18	20	-2	2	2
多根分団			1	1	1	2	10	15	19	-4	2	2
山口分団			1	1	1	2	15	20	21	-1	2	2
湯里分団			1	1	1	4	28	35	35	0	4	4
温泉津分団			1	1	1	4	40	47	46	1	4	4
井田分団			1	1	1	5	39	47	52	-5	5	5
福波分団			1	1	1	4	22	29	29	0	4	4
仁万分団			1	1	1	4	44	51	54	-3	4	4
宅野分団			1	1	1	3	27	33	30	3	2	2
大國分団			1	1	1	3	29	35	39	-4	3	3
馬路分団			1	1	1	3	30	36	34	2	3	3
計	1	5	28	28	28	81	673	844	844	0	80	79

その火事を 防ぐあなたに 金メダル

2020年度全国統一防火標語

消 防 年 報

—令和元年版—

発行 大田市消防本部
(〒694-0064)
島根県大田市大田町大田イ1番地1
電話(0854)82-0650(代表)

編集 大田市消防本部総務課
発刊 令和2年7月